

12/1 総合政策研究科リサーチ・コンソーシアム
連携公開ゼミナール鉄道防災教育の新たな展開
鉄道防災教育・地域学習列車「鉄學」の取り組み

関西学院大学大学院総合政策研究科リサーチ・コンソーシアムは公開ゼミナールとして「鉄道防災教育の新たな展開—鉄道防災教育・地域学習列車「鉄學」の取り組み—」を開催します。

ゼミナールでは、地震発生から津波襲来までの時間が厳しく、乗客の主体的な避難が重要となる紀伊半島沿岸を走るJRきのくに線の事例から、鉄道防災教育の新たな展開について考えます。

「鉄學」は直接避難訓練を実施するのではなく、「防災と言わない防災」の視座のもと、鉄道に乗り紀伊半島にある地域資源を学びながら、「列車からの避難方法」を体得し、率先避難者を増やしていくことを目的に生まれたプログラムです。

※一般参加可、無料、申し込み必要

■日時: 12月1日(金)18時30分～20時00分

■場所: 関西学院大学 大阪梅田キャンパス 1406号教室
(大阪市北区茶屋町 19-19アプローズタワー14階)

■講師: 西川 一弘 氏

(和歌山大学クロスカル教育機構生涯学習部門准教授
日本交通学会、日本社会教育学会、土木学会等に所属
専門: 社会教育学・地域公共交通政策・鉄道防災教育)

■定員: 30名(先着順)

※定員になり次第締切とさせていただきます、総合政策学部HPでお知らせ致します。

■申込方法:

必要事項を記載し、事務局へ電子メールにてお申込みください。

[必要事項] ①氏名、②職業、③年齢

[事務局メールアドレス] gspc-rc@kwansei.ac.jp

■問い合わせ先:

関西学院大学大学院総合政策研究科
リサーチ・コンソーシアム事務局(079・565・7601)

◆関西学院大学大学院 総合政策研究科 リサーチ・コンソーシアム

本研究科の取り組みは、地球社会が抱える諸問題と密接に関連したテーマであり、現実社会との結びつきを常に意識したものです。そのため、企業、研究所をはじめ、官公庁、その他の機関等と研究協力を促進し、人的交流を図るための組織づくりをしています(リサーチ・コンソーシアム<産官学研究協力機構>)。

なお、リサーチ・コンソーシアムは、参加企業や団体、総合政策研究科の教員、および総合政策研究科の大学院生全員が会員として構成されています。

関西学院大学 × STAND 連携企画シンポジウム

12/9 『CHALLENGE FOR 2020
～パラリンピックで社会を変える～』を開催

関西学院大学は12月9日(土)、特定非営利活動法人STANDとの連携企画としてシンポジウム「CHALLENGE FOR 2020 ～パラリンピックで社会を変える～」を開催します。

2020年東京パラリンピックの開催決定をうけ、日本におけるパラスポーツへの注目はこれまではない高まりを見せています。パラリンピック開催まで約2年半となった今、「スクールモットー “Mastery for Service” を体現する世界市民の育成」に取り組む本学は、歴史的なこの機会をスタートとして捉え、これからの共生社会づくりへの意識を高めることを目的とし、STANDと連携して本シンポジウムを開催します。

※一般参加可、無料、申し込み必要

■日時: 2017年12月9日(土)13時30分～15時45分(開場12時30分)

■場所: 関西学院大学 西宮上ヶ原キャンパス 中央講堂

■主なプログラム:

[開会挨拶] 村田 治(関西学院大学長)

[基調講演] 半谷 静香(エイベックス/視覚障がい者柔道48kg級)

[パネルディスカッション]

<パネリスト>

●中田 崇志 (NTTデータ/ガイドランナー
2017WCUP 和田伸也選手の伴走で金メダル)

●半谷 静香 (エイベックス/視覚障がい者柔道48kg級)

●伊藤 数子 (特定非営利活動法人STAND 代表理事)

●村田 治 (関西学院大学長)

<コーディネーター>

●村尾 信尚 (関西学院大学教授、NEWS ZEROメインキャスター)

■申し込み方法: HPよりお申込みください。

(<https://jp.surveymonkey.com/r/GCSZZV5>)

■問い合わせ先: 関西学院大学 学長室 (0798・54・6100)